

(様式1)

所教施第 61 号

令和元年 8月21日

文部科学大臣 様

所沢市長

藤本 正人



施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

所沢市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成29年度（1年間）

（担当）

所沢市教育委員会教育施設課

住所：埼玉県所沢市並木1-1-1

電話：04-2998-9235

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和元年8月21日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

本市教育委員会事務局内において事後評価を実施。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標については、校舎内装木質化、トイレの改修ともに達成できた。
これにより、学習環境の質的な向上において大きな効果をあげることができた。
学校施設の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化、非構造部材の耐震化、トイレ改修等の課題
について、財政状況を勘案しつつ、計画的かつ効率的な整備に努めていく。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

中央中学校について、教室内の湿度調整や木の香りによる癒しなど、健康面、精神面に効果のある内装木質化工事を行い、また、小学校4校、中学校2校について、学校トイレの老朽化改善のため、校舎1系統のトイレについて、洋式化及びバリアフリー化、臭気対策、給排水管の改修等を行い、学校環境の向上を図ることができた。

(5) 施設の特徴に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
中央中学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校		H30.5～H30.9	H30.9.19		
泉小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H30.6～H30.10	H30.10.23		
安松小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H30.6～H30.10	H30.10.19		
美原小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H30.6～H30.10	H30.9.18		
北秋津小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H30.6～H30.10	H30.9.19		
柳瀬中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H30.6～H30.10	H30.10.9		
安松中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H30.6～H30.11	H30.11.16		